

再処理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本)				合計 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	プラスチック 固化体	その他の種類 (本相当)	
核燃料サイクル開発機構 東海事業所	当該年度の発生量	544	0	12	644	1,200
	当該年度の減少量	0	0	0	0	0
	年度末の保管量	32,288	29,967	1,668	9,301	73,224
日本原燃(株) 再処理施設	当該年度の発生量	172	-	-	372	544
	当該年度の減少量	0	-	-	0	0
	年度末の保管量	216	-	-	560	776

(続き)

施設名		貯蔵設備 容量 (本相当)
核燃料サイクル開発機構 東海事業所	当該年度の発生量	92,140
	当該年度の減少量	
	年度末の保管量	
日本原燃(株) 再処理施設	当該年度の発生量	*1
	当該年度の減少量	11,350
	年度末の保管量	

施設名		高放射性固体廃棄物 (本相当)			合計 (本相当)	貯蔵設備 容量 (本相当)
		せん断 被覆片等	使用済 フィルタ等	試料ビン等		
核燃料サイクル開発機構 東海事業所	当該年度の発生量	42	5	39	86	10,320
	当該年度の減少量	0	0	0	0	
	年度末の保管量	4,120	276	1,104	5,500	
日本原燃(株) 再処理施設	当該年度の発生量	-	-	-	-	-
	当該年度の減少量	-	-	-	-	-
	年度末の保管量	-	-	-	-	-

施設名		*2 ガラス 固化体 (本)	低レベル液体廃棄物 (m ³)			高レベル 液体廃棄物 (m ³)
			低放射性 濃縮廃液	スラッジ	廃溶媒	
核燃料サイクル開発機構 東海事業所	当該年度の発生量	35	122	2	7	19
	当該年度の減少量	0	0	0	5	25
	年度末の保管量	97	1,456	1,101	57	432
日本原燃(株) 再処理施設	当該年度の発生量	-	-	-	-	-
	当該年度の減少量	-	-	-	-	-
	年度末の保管量	-	-	-	-	-

*1 貯蔵設備容量には、廃樹脂貯槽(約190m³/基×3基)分の2,850本相当分を含む。

*2 120 容器。